

## 公認心理師養成についてのアンケートのお願い

2018年4月  
公益社団法人 日本心理学会

2018年4月から公認心理師養成のカリキュラムが始まっており、ご苦労されておられる先生方も多いかと存じます。国家資格の養成は日本の心理学史上で最も大きな変革のひとつと考えられます。

公益社団法人 日本心理学会は、これまで公認心理師養成の充実をはかるために努力してまいりました。2015年には「公認心理師に係るワーキンググループ」を設置してカリキュラムについての提案をおこないました。また、本年1月には『公認心理師大学カリキュラム標準シラバス』を作成しました。さらに、本年3月には『公認心理師養成大学教員連絡協議会』を主催し、養成制度のありかたを検討し、大学間で公認心理師養成の情報を共有するネットワークを作りました。

さらに、このたび、全国の大学の公認心理師養成の情報を共有し、今後の問題点を明らかにするために、アンケート調査をおこなわせていただくことにいたしました。調査の趣旨と重要性をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

- このアンケート用紙は、2013年に日本心理学会がおこなった「大学における心理学教育調査」にご協力いただいた大学の各学部の先生方にお送りしております。
- 公認心理師カリキュラムを担当しておられる代表者の方にご回答をお願いいたします。
- 貴大学の複数の部局(学部・学科・コース・研究科・専攻など)において公認心理師科目を担当している場合は、それぞれの部局ごとにご回答いただいても結構です。
- Webからのご回答も可能です(第4ページをご覧ください)

### ■ 所属大学の学部(または大学院)名をご記入ください。

大学名 ( ) 大学

学部 ( ) 学部  
( ) 学科  
( ) 専攻・専修・コース・課程・系・ ( )  
( ) 講座・研究室・ ( )  
(該当名称に○印をつけてください)

### 大学院

( ) 研究科  
( ) 専攻  
( ) 講座・ ( )

### ■ 回答者のご氏名をご記入ください

ご氏名 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

■貴大学のコース設置状況について、差し支えない範囲でお答えください。数字に○をつけてください。

公認心理師コースについて

- 0 該当なし 1 学部のみ 2 学部と大学院 3 大学院のみ 4 未定

臨床心理士コースについて

- 0 該当なし 1 今後も継続予定 2 廃止予定 3 検討中

第1問 現在、公認心理師カリキュラムを実施するに当たって、下記の点について、どの程度困難だと思われていますか（不安や困難を感じていますか）。もっとも当てはまる数字に○をつけてください。

	0 該当なし	1 全く困難ではない	2 あまり困難ではない	3 まあ困難だ	4 非常に困難だ
貴大学と直接関係のない質問やお答えの難しい項目は「0 該当なし」に○をつけてください。⇒					
1 公認心理師カリキュラムに対応した授業がすべて開講できるかどうか	0	1	2	3	4
2 カリキュラムに対応した講師が確保できるかどうか	0	1	2	3	4
3 用意したカリキュラムに公認心理師制度推進室の許可がおりるかどうか	0	1	2	3	4
4 学生の意欲や期待に応える授業が提供できるか	0	1	2	3	4
5 学生が意欲を持って公認心理師カリキュラムに取り組むかどうか	0	1	2	3	4
6 大学の「心理実習」を担当する大学教員が確保できるかどうか	0	1	2	3	4
7 大学の「心理実習」の実習先が確保できるかどうか	0	1	2	3	4
8 公認心理師カリキュラムにより基礎心理学教育のレベルが低下しないか	0	1	2	3	4
9 大学院の実習を担当する大学院教員が確保できるかどうか	0	1	2	3	4
10 大学院の実習先が確保できるかどうか	0	1	2	3	4
11 大学入試で公認心理師を志望する学生が集まるかどうか	0	1	2	3	4
12 大学入試で質の高い学生が集まるかどうか	0	1	2	3	4
13 大学院の入試で公認心理師を志望する学生が集まるかどうか	0	1	2	3	4
14 公認心理師養成とこれまでの臨床心理士養成が両立できるかどうか	0	1	2	3	4
15 所属大学の卒業生の国家試験の合格率が低くならないかどうか	0	1	2	3	4
16 国家試験を合格した卒業生の就職先が確保できるかどうか	0	1	2	3	4

■その他、カリキュラム・実習・国家試験等についての困難や不安な点があれば、自由にお書きください。

第2問 日本心理学会ないし「公認心理師養成大学教員連絡協議会」（注参照）に対してどのような活動を期待しますか。もっとも当てはまる数字に○をつけてください。

	0 該当なし	1 全く期待しない	2 あまり期待しない	3 まあ期待する	4 大いに期待する
貴大学と直接関係のない質問やお答えの難しい項目は「0 該当なし」に○をつけてください。⇒					
1 標準となる教科書を作ってほしい	0	1	2	3	4
2 大学カリキュラムの標準シラバスを作ってほしい	0	1	2	3	4
3 大学院カリキュラムの標準シラバスを作ってほしい	0	1	2	3	4
4 大学の「心理実習」の標準マニュアルを作ってほしい	0	1	2	3	4
5 大学院の実習の標準マニュアルを作ってほしい	0	1	2	3	4
6 大学の「心理実習」の実習先を斡旋・調整してほしい	0	1	2	3	4
7 大学院の実習の実習先を斡旋・調整してほしい	0	1	2	3	4
8 カリキュラムに適合する非常勤講師を斡旋してほしい	0	1	2	3	4
9 コンソーシアム（他大学等との単位互換）の制度作りを進めてほしい	0	1	2	3	4
10 コンソーシアムの斡旋・調整を進めてほしい	0	1	2	3	4
11 養成大学の組織化をすすめ、大学間の横の情報交換を進めてほしい	0	1	2	3	4
12 養成大学の要望をまとめて5年後の見直しで官庁と交渉してほしい	0	1	2	3	4
13 基礎的な心理学を重視するように働きかけてほしい	0	1	2	3	4
14 実践的な心理学を重視するように働きかけてほしい	0	1	2	3	4
15 臨床心理士など他資格の養成と両立できるようにしてほしい	0	1	2	3	4
16 国家試験出題基準（ブループリント）を実際の学問体系に合わせるように働きかけてほしい。	0	1	2	3	4
17 公認心理師の病院での業務の診療報酬化を進めてほしい	0	1	2	3	4
18 公認心理師取得後の専門資格制度を考えてほしい	0	1	2	3	4

注)「公認心理師養成大学教員連絡協議会」については、添付したファイルを参照ください。または、日本心理学会のホームページをご参照ください。

[https://psych.or.jp/qualification/shinrishi\\_info/shinrishi\\_training/](https://psych.or.jp/qualification/shinrishi_info/shinrishi_training/)

個人および組織でのご入会と、学会のご加盟を募集しておりますので、よろしくお願いいたします。

■その他、日本心理学会ないし「公認心理師養成大学教員連絡協議会」に望むこと、今後の公認心理師のあり方などについて、自由にお書きください

■日本心理学会の「認定心理士」「認定心理士（心理調査）」資格について、公認心理師との関係で、ご意見があればご記入ください。

ご回答いただき、ありがとうございました。  
ご意見・ご要望等ございましたら、下の欄に自由にお書きください。

回答は、2018年7月15日までに お願い申し上げます。

回答の方法は、以下のうちどの方法でも結構です。

- 1) 下記の返送先に同封の返信用封筒にて郵送いただくか、FAX、メール添付でお送りいただく。  
本アンケート用紙（Word ファイル）は、下記 URL からダウンロードできます。

[https://psych.or.jp/qualification/shinrishi\\_info/shinrishi\\_questionnaire/](https://psych.or.jp/qualification/shinrishi_info/shinrishi_questionnaire/)

- 2) web 入力いただく

回答先 URL : <https://goo.gl/forms/qyRZDcq95EIJLAQB3>

下記 QR コードからもアクセスしていただけます。



問い合わせ先 ・ アンケート返送先

公益社団法人 日本心理学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル内

TEL : 03-3814-3953 FAX : 03-3814-3954

E-mail : [jpa@psych.or.jp](mailto:jpa@psych.or.jp)